

その他コンテンツ例

コンテンツ	詳細内容	目的・注意点	使用物	使用機能	備考	目安時間
業務体験	<p>テーマに沿った内容の業務体験を実施。</p> <p>例) ①会社の新商品・サービスを作るとしたら何を作るか →実際の商品開発の企画ミーティングに参加し、社員がどのような手順や考えで開発を行っているのか見る</p> <p>⑤参加企業の売上を伸ばすには →営業の場面に実際についていき、どのような会話をしているのかを聞く</p>	<p>オンラインだと会話での情報が中心になるので可能であれば全員参加でなくても現場の空気感がわかるプログラムを間に挟むと学生の満足度も向上し、ワークの質も向上します。</p>			<p>対面とオンライン両方向時に実施することも可能です。</p> <p>社内Wifiの届かない場所を紹介する際はモバイルWifiルーターなどを使用することをおすすめします。</p>	1時間程度
グループディスカッション	<p>テーマを共有する</p> <p>《テーマ例》 ①会社の新商品・サービスを作るとしたら何を作るか ②会社で働く場合に必要な心構えは ③企業サイトを改善するとしたらどこを直すか ④参加企業の魅力を学生に伝えるには ⑤参加企業の売上を伸ばすには など</p>	<p>参加者の思考力やプレゼン能力を見ることができます。Zoomにつなぎ続ける必要はあるもののオンラインでも実施することができます。グループでも個人でも実施することができます。</p>		・ブレイクアウトルーム (マニュアルP.35)	<p>議論の途中で情報提供や中間報告でのフィードバックを行うことで参加者の議論の活性化につながります。</p>	1~2時間×2回程度
社員からの情報提供	<p>社員からグループディスカッションのテーマと重なるような業務内容の話をする。</p> <p>例) ③企業サイトを改善するとしたらどこを直すか →サイトを見る人に伝わってほしいことは～でその背景には△△を売り出したいという思いがあるから…</p> <p>⑤参加企業の売上を伸ばすには →営業先は〇〇が多いという話はしたけど、△△みたいな需要もあると思って□□業界に営業ができればならなと思っている…</p>	<p>長期間でグループでの議論をすると考え抜いた結果、煮詰まっている可能性が高いです。フィードバックとは別に、テーマに沿った現役職員の意見を入れてあげることでそのあとの議論の活性化につながります。</p> <p>また、社員が自身の業務について語ることで、社員自身の思考の整理にもつながります。</p>	パワーポイント等PCで作成した資料	・画面共有 (マニュアルP.25)	<p>対面とオンライン両方向時に実施することも可能です。</p>	1時間程度
最終発表	<p>各チーム5～10分程度で発表してもらう。 発表中に参加学生にチャット機能で感想をもらう。</p>	<p>発表や休憩の時間は参加者の人数に応じて調整してください。</p>	パワーポイント等PCで作成した資料	・画面共有(マニュアルP.25) ・レコーディング(マニュアルP.31)		参加者の人数に応じて調整